

連結売上高173億円目標

利益率向上へ 技術研修を強化

あ い で

いでは、15年12月期から3年間の業績目標を設定した。17年12月期に連結ベースで売上高173億円、売上高営業利益率10%を目指す。売上高を14年12月期の166億円からほぼ横ばいとすることを以て、細田昌広社長は24日に東京都内で開いた決算説明会で「公共事業予算の伸びが不透明だ。民間の売り上げも伸ばしたいが、景気動向に左右される」と説明し、利益を重視する姿勢を示した。人材育成で技術研修も強化する。

14年12月期の連結業績は、売上高165億71百万円(前期比5.5%増)、営業利益18億25百万円(30.7%増)、経常利益18億50百万円(40.5%増)、純利益15億88百万円(64.6%増)。

売上高営業利益率は11.0%、売上高純利益率は9.6%で、13年12月期から3力間の中期経営ビジョンで設定した営業利益率(6%)と純利益率(3%)、売上高(160億円)を前倒しでクリアしたため、目標を設定し直し、15年12月期から3年間の計画を立案した。

同社の売上高の9割近

せる。

10%以上の営業利益率

を安定的に維持するため

に人材確保・育成も強化。採用人数を増やすことも、従来の階層別技術研修に加え、技術士資格取得支援研修、業務受注に向けた提案力向上を目指す専門技術研修を強化する。15年度は山梨県内に100人収容の研修室、50人収容の宿泊施設を備えた新富士研修所も建設

する。

重点分野に掲げる海外事業については、田畑日出男会長が「昨年10月にタイに合弁会社を立ち上げた。中国の営業拠点も含めアジア市場で受注を積み上げる」と述べ、受注拡大に向けて人材育成や設備投資を加速する考えを示した。